

## 徳島・中島田遺跡

なかしまだ



(徳島)

1 所在地 徳島市中島田町  
2 調査期間 第四次調査 一九九二年(平4)七月~一二月  
3 発掘機関 徳島県教育委員会  
4 調査担当者 山下知之  
5 遺跡の種類 集落跡  
6 遺跡の年代 一三世紀~一六世紀  
7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

中島田遺跡は、徳島市西部を北東に流れる鮎喰川の下流域右岸に位置し、同川ならびに吉野川によって形成された沖積地に立地する  
中島田遺跡は、徳島市西部を北東に流れる鮎喰川の下流域右岸に位置し、同川ならびに吉野川によって形成された沖積地に立地する  
位

中世の集落跡である。

本遺跡は、一九八六年に

県道改良工事に伴ってその

所在が確認され、以来継続的

に調査が行なわれている。

今回の調査では、掘立柱

建物をはじめ、土坑、溝・  
溝状遺構がみられ、以前から調査されている一三~一

四世紀頃の集落の広がりが確認された。四次にわたるこれまでの調査結果から、集落の規模は、東西三〇〇m以上に及ぶものと推定される(南北の範囲は不明)。また、上層において、一五~一六世紀代の溝・石組井戸も検出されている。

出土遺物は、杯・椀・鍋などの土師質土器を中心に、瓦器、国内産陶器(備前・常滑・瀬戸・魚住)、輸入陶磁器などがみられ、その大半が一三世紀後半~一四世紀前半のもので占められる。さらに、集落内を区画していた比較的大きな溝から、多量の木製品が出土している。主なものは、漆塗椀、曲物、ヘラ、将棋の駒(歩兵)、呪符

8 木簡の釈文・内容

・□カ

・□

(75)×(20)×2 081

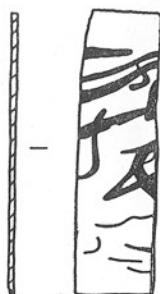
上部ならびに左右縁部欠損のため原形は不明。表の文字は判然としないが、「鬼」と推定される。

9 関係文献

徳島県教育委員会『中島田遺跡  
・南島田遺跡』(一九八九年)  
(山下知之)



(裏)



(表)